

## 6. アンケート地区別分析項目

TU130106

### 6-9. 海老名 地区親の会 会員アンケート結果分析項目

#### ①アンケート回収状況(アンケート属性、件数データー集計結果 )

##### 1) 回収率

回答件数	26 件
総発行数	38 件
回収率	68.4 %

##### 2) 日中活動の場

	件数
21 通常級	7 名
22 特別支援学級	5 名
23 特別支援/養護学校	2 名
31 全日制高校	2 名
51 通所福祉施設	7 名
61 普通企業	1 名
70 在宅	2 名
72 その他	名
合計	26 名

##### 3) 障害者手帳の状況

療育手帳 A1	3 名
A2	4 名
B1	3 名
B2	3 名
B3	4 (神奈川判定B2)
精神 2級	3 名
精神 3級	名
無し	6 名
合計	26 名

##### 4) 記入者

1 本人	0 名
2 家族	26 名
合計	26 名

##### 年齢構成

年齢	人数	男	女
8	2	1	1
9	2	2	
10	1	1	
11	5	4	1
12	1		1
13	1	1	
14	2	2	
16	2	2	
18	1	1	
19	1		1
20	1	1	
23	1	1	
25	1	1	
28	1	1	
30	1	1	
34	2	2	
35	1	1	
合計	26	22	4

##### 5) 住んでいる所

1 自宅	24 名
3 GH	2 名
4 入所	0 名
合計	26 名

## 2 総回答件数状況

### 1) NO 質問項目

NO 質問項目	○良かった事	●困った事	20 望む事	30:合理的配慮	合計件数	%
NO1 療育・教育	21	24	13	8	66	26.7
NO2 障害児支援	14	11	6	2	33	13.4
NO3-1 働く(一般就労)	2	3	3	1	9	3.6
NO3-2 働く(福祉就労)	5	5	2	2	14	5.7
No4 医療	17	11	7	4	39	15.8
NO50 警察や交番・司法	4	0	2	1	7	2.8
NO6-1 生活支援(店舗等)	6	9	3	3	21	8.5
NO6-2 生活支援(公共交通機関)	1	2	1	1	5	2.0
NO6-3 生活支援(消費生活等)	1	4	1	1	7	2.8
NO7 生活(住まい)	4	6	3	4	17	6.9
NO8 救急・消防・災害	1	0	4	2	7	2.8
NO9 政治参加	0	3	2	1	6	2.4
NO10 社会参加	4	7	4	1	16	6.5
合計	80	85	51	31	247	100

検算 247

### 2) 自由記入

NO 質問項目	件数
10 困った事	3
20 助かった事、親切だった事	2
30 アンケートへの感想、意見	1
40 会への要望、意見	1
50 その他	0
合計	7

## ②生活シーンNO項目別回答コメントの分析概要報告(海老名市)

### NO1 療育・教育

- ・診断を受けてすぐ療育をうけられた、親の自覚がないうちから流れで療育を受けられるようになっていたなど、早期療育への体制づくりについては一定の評価を得ている。
- また、通園施設の専門性にも満足の声が多い。通園施設と幼稚園を併用できたり、日中は幼稚園や小学校に通いながら、放課後に療育を受けられることについても評価されている。
- 一方で、学校教育においては、教員の専門性を疑問視する声、個別の支援を受けられない不満などが相変わらず多いように見受けられる。ただ、中にはきちんと個別教育計画を作成し、交流も上手くいっているケースもあるよう。また、通級教室の評価も高く、通常級在籍の児童にとって貴重な場となっている。

(望む事として) 特に教育現場において、本人に寄り添った個別の支援体制づくりをしてほしい。  
(合理的配慮) 教員の自閉症に対する理解を深め、保護者と連携して個別支援計画を立てる。

### NO2 障害児支援

- ・健診時の保健師の対応については、「何も教えてくれない」「言い方に傷ついた」という回答があった。
- 一方、相談機関を紹介されたことで、その後の療育に繋がったケースもあった。
- ・学齢期の療育があることや、日中一時支援・移動支援などのサービスが充実していることには助かっているという声が多い。ただ、預け先の事業所の自閉症に対する理解が不十分だったり、通学支援としては使えないなどの不満の声もあった。
- ・顧問教員の理解があつたおかげで、部活を続けられたというケースもあった。

(望む事として) 健診でちゃんと説明して欲しい。  
余暇を広げるための支援が増えて欲しい。  
(合理的配慮) 同年齢の子どもたちが経験するようなことを同じように経験するためのサポート体制づくり。

### NO3-1 働く(会社などの一般就労)

- ・手帳がとれるかどうかのボーダーラインにいる方には、見通しが立たず、進路選択がとても難しい状況となっている。
- ・就労支援の体制に不満がある。
- ・個人契約をしている就労支援者の仲介があつたおかげで、何とか継続して働いているというケースあり
- ・障害者就労機関、独立行政法人よりも、県(仕事センター)や市(市が民間に委託している大和障害者自立センター)等の対応は、迅速で丁寧だったとの報告あり。

(望む事として) 手帳の有無に関係なく、支援が必要な人に支援がされるような会社が増えて欲しい。  
雇用の場を広げるために、市役所で(身体障がい以外の)障がい者雇用として欲しい。  
その際に、市のほうでジョブコーチを雇って欲しい。  
(合理的配慮) 一般就労であっても、本人独特の難しさに対する配慮ができる環境づくり。

### NO3-2 働く(福祉的就労・施設・作業所など)

- ・生活介護だからか、日々を穏やかに過ごせればいいのか、年長者も若者も作業内容が同じ。もう少し個別の支援内容を工夫して欲しい。お説教よりも、どうすれば本人が集中して仕事ができるのかを考えて、手順書などのわかりやすい工夫をして欲しい…など、施設の対応に対する不満がある。
- 一方、個別支援計画の見直しがあり、契約がしっかりとしていて作業手順などの提示もわかりやすいと現在の作業所に満足しているという声もあった。

(望む事として) 地元で働く場が少ない。もっと増やして欲しい。  
皆一緒にと言われても、個別の支援がなければ、そこにいることすらできない。  
一人ひとりの支援を考えて欲しい。  
(合理的配慮) 仕事を本人にわかりやすくするための手順書や物の配置、場所の工夫。  
多様な職場の開拓。

### NO4 医療

- ・待合室以外で待たせもらったり、特性を理解して診療や治療の説明を本人にしてくれたり、子どもの様子を見て早めに呼び入れてくれたり、音が苦手な子のためにTVを消してくれたりといった配慮をしてくれる医療機関の例の報告があつた。
- 一方、事情を説明しても理解してもらえなかつたり、医師の言葉や態度がひどかつたり、障害があると伝えただけで診療を断られたケースもあった。
- ・ボーダーの子は、手帳をもらうための医療機関探しに苦労があるという報告あり。

(望む事として) 自閉症の事を医師・看護師・受付・薬局などの人に理解してもらいたい。  
(合理的配慮) 障害特性に合わせて本人にわかりやすく手順を説明する。  
待ち時間を過ごす場所、時間短縮などに柔軟に対応する。

## NO5 警察や交番・司法

- ・自動車専用道路を自転車で走行してしまい、通報されたが、警察が保護して連絡してくれたケースあり
- ・新しい場所に行くときは、駅前交番を確認させ、万一のときは手帳を示して家や相談機関に電話するように教えているという実践例があった。
- ・移動支援中に一般の女の子を押してしまい、そのときは大騒ぎになつたが、相手の家へヘルパーさんと謝りに行くと、障がいのことをわかつてくださったという報告があつた。

(望む事として) 自閉症の専門知識を持っている方に対応して欲しい。

(合理的配慮) 警察や司法において自閉症への理解を深め、特性にあわせて対応する。

## NO6-1 生活支援(店舗・レジャー施設・余暇の場)

- ・いつも通っているスーパー、コンビニなどは、店員も理解して対応してくれることが多いようである。
- ・ファミリーレストランに一人で行って注文し、料理が待てずに出てしまい、時間を置いてまた同じ席に座つて注文した。店は、1回目の料理は処分し、2回目は先払いでの料理を出してくれた。
- ・事情を知って、出向くと対応が良く、写真・連絡先をお渡しし、その後も本人が食事をしに行っている。
- ・一人でよく出かけるので、レシートを見て、よく行く場所にはカードを渡したり、挨拶をして様子を聞いている。
- ・余暇活動、習い事などにヘルパーさんと参加できて助かっている。
- ・ディズニーランドは手帳がなくても配慮してくれた。
- ・障がい児向けのスイミングスクールで、てんかんの発作を起こした可能性が一度あるということで断られた。
- ・商業施設で大泣きしてしまい、人気のない建物の隅で落ち着くまで待とうとしていたら、従業員に他の場所に行ってくれと言われた。
- ・手帳で入館しようとしたが、書類を書くのに手間取り、子どもが待ちきれずに入館を断念した。
- ・サービスエリアで、子どもが迷子にならないように「みんなのトイレ」に一緒に入つたら、出てきたときに車椅子の方が待つていて、「健常者が！」と怒られた。
- ・映画館で前の席を蹴って怒られた。

(望む事として) 映画館、コンサート会場などに優先席が欲しい。

とにかく待つことができないので、予約のシステムがあると良い。

手帳を持っている人への対応を働いている人が知つていてもらえると有難い。

減免などの手続きの簡素化を行つて欲しい。

「みんなのトイレ」は、身体障がいでない障がい者とその家族が利用することもあることを表示して欲しい。

福祉の拠点の中高年の元気な方々のサークル活動利用を少し考えて欲しい。

(合理的配慮) 減免などの手続きの簡素化。

身体障がいだけでなく、知的障がい・自閉症にも一般の理解を深めてもらう工夫。

## NO6-2 生活支援(公共交通機関)

- ・混雑していると、手帳を出して手続きしにくい。本人自身では、更に利用しにくい。
- ・座りたくて、座っている人に嫌なこと言つてしまつたり、人が多いのが苦手で満員電車では興奮してしまつたりする。
- ・グリーン車を利用すると大人しい。自分の居場所があると、物凄く静か。

(望む事として) 近距離施設に通う場合、私鉄は割引がないので、バスと同様に割引にして欲しい。

公共交通機関でのサービスがあるが、本人自身では利用しにくい。

事前に手続きが必要となると、更に利用しにくい。

(合理的配慮) サービスを受けるための手続きの簡素化

## NO6-3 生活支援(消費生活・情報アクセス・コミュニケーション保障)

- ・申請手続きは親が代理でやっている(月～金、作業所で時間がない)。
- ・路上アンケート、キヤッチ、携帯での誘いにつかりやすくて困る。
- ・相談機関で親も交えて話し合いの場を設けていただき、本人の納得する形で決着でき、今後の注意点を確認できた。今は、本人自ら相談して確認している。

(望む事として) 当事者向けSST、ロールプレイの学習会があると助かる。

(合理的配慮) 土曜開庁←海老名市は実施済み。

## NO7 生活(住まい)

- ・家族とうまいかなかつたり、近隣者の理解が得にくい例がある。
- ・グループホームでゴミの分別ができない(捨てられない)。
- ・住まいを探す際、近所の迷惑にならない一階や一軒家、通いたい学校のある地区など、普通なら考慮する築年数や値段、間取りや交通の利便性などが二の次になつてしまう。
- ・近所の人との挨拶ができないので、事情を話してわかつてもらつた。

(望む事として) グループホームが全くたりない。本人の生活の場をもっと増やして欲しい。

学区が違っても行きたい学校に通えるようにしてもらえると、住まいの選択肢も広がる。  
(合理的配慮) グループホーム、独立居宅型のアパートのような住まいなど、さまざまなニーズに対応できる住まいの充実。

#### NO8 救急・消防・災害

- ・学童を利用していたおかげで、震災の際にパニックになりかけたところを安全なところに誘導してもらえた。下校時間だったので、もし子ども一人だったら無理だった。
  - ・市外の学校に通っていると、車の通行を止められた場合、歩いて迎えに行き、歩いて連れ帰らなくてはならず、かなり困難が予想される。
- (望む事として) 避難時に、学校の教室利用など、個別の空間を確保して欲しい。  
　　公的機関の人には、自閉症の特性を理解した対応をして欲しい。
- (合理的配慮) 災害時の対応に障害特性を理解したシステムを作る。

#### NO9 政治参加

- ・地域の投票所では、顔見知りの人が立会人であったりして、選挙後に喧話の種になることもあり、市役所での期日前投票にしている。
  - ・子どもがどうしても母から離れられず、投票箱と一緒に寄っていってしまったときに、すごく大きな声で注意されてしまった。
- (望む事として) 受付で多くを話されると不安が募ってしまうので、簡単な指示にして欲しい。  
　　成年後見制度を利用して、選挙権を剥奪しないで欲しい。  
　　親と一緒に事前に検討して期日前投票をしているが、親亡き後は後見人に付き添いをお願いしたい。
- (合理的配慮) 投票の手順を写真、矢印等で視覚的にわかりやすくする。

#### NO10 社会参加(地域、自治会、民生委員など)

- ・近所から苦情をいわれたり、自転車の鍵の紛失を子どものせいにされたりなどのトラブルがある。
  - ・一方で、事情を話したことにより、配慮してもらえた事例もある。
  - ・地域行事、子ども会などは、何の支援もないでの、誘われても参加しにくい。
  - ・民生委員や自治会関係者が役を退いた後に近所で噂になったり、鋭い視線を感じるようになったりした
- (望む事として) 民生委員などの経験者への指導をして欲しい。  
　　障がい者がいることを把握し、地域参加しやすい支援をして欲しい。

#### 全体としてのコメント

早期発見・早期療育の体制は整いつつあるものの、教育現場での課題はいまだに多いことを痛感した。

また、卒業後の就労・日中活動の場、住まいなどの資源が乏しく、多くの保護者が不安を感じている。医療や警察・司法の分野でも、理解ある対応も増えているが、まだまだ啓発の必要性があると思われる生活の面では、様々な面で課題があるが、その多くは周囲の理解や支援体制で改善できるような印象を受けた。

法律の改正や、行政の手続きの簡素化などで解決できる問題は、速やかに対応してもらえればと思う。

以上